

# 文化・歴史 富山の魅力知る

子どもたちがさまざまな体験を通じて富山の文化や歴史、産業などを学ぶ「とやま街なか学習プログラム」が28日、富山市の中心市街地で行われた。片山学園中学校（同市東黒牧・大山、望月尚志校長）の1年生117人が、市街地散策や遊覧船の乗船などを楽しんだ。

## 街なか学習プログラム



池田屋安兵衛商店で薬の成分や歴史について教わる生徒

## 片山学園中生 市街地散策や遊覧船乗船

富山市内の「まちの駅」運営企業などで行く「街なか学習プログラム実行委員会」（池田安隆委員長）が、2013年から実施している。

この日、片山学園中の生徒たちは事前学習として「環境政策」「水の豊かさ」「富山の薬とまですし文化」をテーマに講座を受けた後、まですし作り、富岩水上ライン、松川遊覧船の3コースに分かれて活動した。

公共交通を使って文化施設を巡り、商店での買い物を楽しむ「街なかウォークラリー」では、七越や和菓子屋「月世界本舗」など6店舗を回って老舗の食を味わった。池田屋安兵衛商店では、薬の成分や歴史について学んだ。

加藤希美さんは「まですし作りの体験などを通して、楽しく街の魅力を知ることができた」と話した。

同実行委は、今後も県内外の小中学生を対象に同プログラムを行う。

## 踏切事故防止を

JR西が呼び掛け

【富山】秋の全国交通安全運動に合わせ、JR西日本北陸広域鉄道部は28日、富山市婦中町速星の高山線速星踏切で啓発活動を行い、ドライバークリヤーや歩行者に踏切での事故防止を呼び掛けた。

【webunに動画】車が遮断機に接触し、棒を折る事故の多い踏切を中心に活動している。今回は同部と富山新幹線電気区、県警鉄道警察隊から14人が参加した。社員は、踏切のルールに関するチラシやクリアファイル、



ドライバークリヤーなどを手渡す社員

この記事は、webunで会員以外の方もご覧になれます。

## 布袋像に市民の幸せ願う

新川老人会 老人ホームに寄贈



林会長（右から2人目）と共に

魚津 社会福祉法人新川老... 3枚、重さ8トの大狸...